

# 記入例：離職の方

様式第一号(第十三条関係)(表面)

(様式1-1) (表面)

生活困窮者住居確保給付金支給申請書					
フリガナ	○○○○ ○○○				
①氏名	○○ ○○				
②生年月日	昭 <del>和</del> ・平成・令和 ○○年 ○○月 ○○日 満(○○)歳				
③電話番号	○○○○-○○○○				
④次の1.又は2.の場合であること (いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載)					
1. 離職又は第3条第1号に規定する場合					
離職等の時期	令和○年○○月○○日				
離職等した事業所	株式会社○○				
2. 第3条第2号に規定する場合					
給与その他の業務上の収入を得る機会の減少の状況					
⑤離職等前に世帯の生計を主として維持していたこと又は申請月において維持していること					
離職等前の雇用状況等、世帯の生計の維持にかかる状況	契約社員として働き、就労収入により生計を維持していた				
⑥次の1.又は2.のいずれかに該当していること (いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載)					
1. 住居を喪失していること					
住居を喪失した時期					
喪失した住居の住所					
現在の状況					
2. 住居を喪失するおそれがあること					
現在の住所	足立区中央本町○丁目○○番○○号○○○号室				
住居の家主等	○○ ○○				
喪失するおそれのある住居の家賃額	○○,○○○円(管理費、共益費除く)				
現在の収入状況等、住居喪失のおそれがある理由、状況等	失業に伴い、家賃の支払いが困難であるため				
⑦申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること					
フリガナ	○○○○ ○○○	○○○○ □□□			
氏名	○○ ○○	○○ □□			合計
続柄	本人	妻			
生年月日	昭和○年○月○日	昭和○年○月○日			
収入(月額)	○○,○○○円	○○,○○○円	円	円	円
預貯金等	○○,○○○円	○○,○○○円	円	円	円
※申請日の属する月の収入(月額)が確実に推計できる場合はその額を、変動あるときは収入の確定している直近3か月間の平均収入を記載し、雇用保険の失業等給付、各種年金等も合算する。					
<p>上記の申立書に必要書類を添付し、以下の「則」という。)第13条の規定による給付金及び総合支援資金の融資を行うため、公共職業安定所、職業安定法(昭和律第141号)第4条第9項に規定する特定地方公共団体、同条第10項に規定する職業紹介事業者で地方公共団体の委託を受けて無料の職業紹介を行う者、社会福祉協議会及び自立相談支援機関の間利用されることについて了承します。</p> <p>、裏面の注意事項について、同意します。</p> <p>令和○年 ○月 ○○日</p> <p>足立区長殿</p> <p style="text-align: right;">申請者氏名 ○○ ○○</p>					

世帯員全員分記入してください

申請月の収入を記入してください

**【就労等収入】**  
給与収入の場合、社会保険料等天引き前の、事業主が支給する総支給額(交通費支給額は除く)  
自営業の場合、事業収入(経費を差し引いた控除後の額)

**【公的給付等】**  
定期的に支給される雇用保険の失業等給付、児童扶養手当、公的年金

**【その他】**  
親族等からの継続的な仕送り

預貯金等は、金融機関の口座残高(複数の口座所有の場合は全て)、手持ちの現金及び自宅保管の現金の合計額を記入してください

書類記入日